



めぐみだより No.2

令和5年7月

うさぎぐみ



天候も安定せず蒸し暑い日が続いていて体の動きも鈍くなりがちですが、元気いっぱいなうさぎ組さんです！全身を使ってマルチパネを組み立てたり、試行錯誤しながらしゃぼん玉の実験も楽しみました。水遊びでは水の感触を楽しみながら水に浮いて進む船も作ったりと、頭も身体も動かしながら過ごしてきました。

・しゃぼんだま作りは、まず「しゃぼんだまって何で出来てるかな？」と子どもたちに聞いてみました。「お水とせっけん（泡）でしょ」と子どもたち。そこでその2つの材料を使って実験スタートです！おろし器を使ってせっけん削りをしました。「これ大根おろしのだよね！」「お家にもある！」と興味津々です。怪我をしないように目を離さずに削りながらも、お友だち同士の会話も楽しむ器用な姿もありました。しゃぼん玉作りの実験では、自分なりに考えたりお友だちに聞きながら、混ぜる量を工夫したり、吹き方や息の量を調節したり様々な方法を試していました。

・男の子たちは虫さがしに夢中です！「今日も探そう！」と毎日意気込んでいます。捕まえたら細かく観察し、図鑑で調べ、何を食べるのか、どんな環境がいいか話しながらお世話しています。女の子たちはテントでのごっこ遊びを楽しんでいます。廃材で食べ物を作ったり、小さい組の子たちも優しく受け入れ、一緒に遊びを展開していく姿がありました。

2学期は運動会に向けて、力を合わせて頑張っていけるよう、練習を繰り返し行っていく計画をしています。また、お友だちの前で話をするという機会を増やしていこうと考えています。夏休み明けに、1人ずつ夏休みの思い出を発表する機会を設ける予定ですので、ご家庭で質問に答えるという経験を夏休み中もたくさんしてもらえたらと思います。

はとぐみ



すっかりお兄さんお姉さんになったはと組は、うさぎ組の活動にも混ざり、遊びを一緒に楽しむ様子が多くありました。

うさぎ組が作っていた「紙ぶた円盤」という丸く切った厚紙を飛ばす制作物を見て「自分もやりたい！」という気持ちがわき、優しいお兄さんお姉さんに教えてもらいながら一緒に遊びを楽しむ姿がありました。他学年との交流をもつことで刺激を受けたり、自発性を発揮しながら、より関係の深い関わりができるように援助しています。

水遊びでは、色水を作りジュースに見立てて遊んだり、牛乳パックで船を作り浮かべて遊んだりしました。自分で色水にしたいお花を選び、花びらをのせて「見て！ジュースみたいでしょ」という会話をしながら、遊びを楽しんでいる姿がありました。また、船を浮かばせてた際には、「どうして沈んじゃうの？」と疑問を持ちながら、沈まない方法を試行錯誤しながら学ぶ経験も出来ました。

子どもが遊びの中で自己表現をしようとする気持ちを捉え、表現する喜びを十分に味わうことができるように環境づくりや声かけを特に心掛けています。

2学期は、うさぎ組と関わる機会を多く作り、様々な経験や対話を通して自己発揮ができるような環境をつくりたいと考えています。また、運動会に向けて、体を使って遊ぶことが楽しい、気持ち良いと感じてもらえるような援助しながら保育をしていきたいと思っています。

ひよこぐみ



6月は、砂場でお山を作ったり、水を流して手で混ぜたり裸足になって楽しんだり、感触遊びを沢山しました。型抜きしてプリンやアイスを作ったり、カップに入れた水に砂を混ぜコーヒーに見立て「コーヒーどうぞ♥」「プリン食べますか〜？」など、お店屋さんになりきって保育者や友達と遊ぶ姿も見られました。

草花を使って料理を作る遊びから、ビニール袋に草花と水を入れ色水遊びにも発展しました。袋を手でモミモミしたり、用意しておいたすり鉢など様々な道具を使いながら色水作りを楽しみました。楽しんでいる友だちの姿+道具（笑）に興味を示し、ひとり、またひとりと友だちが増え、気がつけば砂場のテーブルにひよこ組全員が集まり色水作り！一緒にいる空間や遊びを共有し心地良さを感じているようでした。花をつぶして色がつく不思議を味わいながら、「紫だからぶどうジュースで〜す！」「こっちのカップに花のせよう」と、ジュース作りも盛り上がりました。

お花の色水遊びから、色に興味を持つ姿が見られたので、絵の具遊びにつなげてタンポスタンプを初体験♪「こっちは黄色だけで押したい」「いっぱい押したい♪」と、その子なりの関わり方で感触遊びをしながら、「混ぜたらオレンジになったよ〜」と色を混ぜる面白さや、色の変化にも気づきました。タンポスタンプの経験から、「もっと絵の具やりたい！」という声が多かったので、絵の具と綿棒でスイカの種をつけたり、障子紙に筆で色をつけてジュースを作ったり、ひよこ組ならではの絵の具遊びでのびのび表現を楽しみました。

暑い日にはじゃぶじゃぶ池で水遊びを沢山しました。水しぐきを浴び友だちと笑いあったり、水をカップやペットボトルにすくったり、勢いよく水を流したり、水の様々な動き、特性に触れ親しむことができました。

2学期も、子ども達のつばやきを受け止めながら、やってみたい！という興味を大切に、それぞれの遊びと育ちを支えていきたいと考えています。また、友だちと一緒に遊ぶ中で「いれて」「かして」「ごめんね」「ありがとう」など言葉にして伝えていけるように見守っていきたくと思っています。